

用語集

用語	解説
あ IT	情報技術。コンピューター技術。
悪性新生物	細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍。悪性腫瘍。
アテローム血栓性梗塞	血管の壁にLDLコレステロールが沈着し、血管の内腔が狭くなり、最終的に血管が詰まるもの。多くは、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が原因となる。
アルブミン定量(尿)	糖尿病または糖尿病早期腎症患者に行う尿検査。糸球体濾過量(eGFR)とともに糖尿病性腎症の進展、病期の分類の評価に用いる。
い eGFR	推算糸球体ろ過量の略で、腎臓の糸球体における血液のろ過量を表す。血清クレアチニン値及び年齢・性別の条件を用い、日本人の体格を考慮した推算式に入れて算出する。
インセンティブ	意欲向上や目標達成のための刺激策。経済財政運営と改革の基本方針として平成27年6月30日閣議決定されたインセンティブ改革、全ての国民が自らがんを含む生活習慣病を中心とした疾病の予防、合併症予防を含む重症化予防、介護予防、後発医薬品の使用や適切な受領行動をとること等を目指し、特定健診やがん検診の受診率向上に取り組みつつ、個人や保険者の取組を促すインセンティブのある仕組みを構築することが重要とされている。
え HDLコレステロール	高比重リポ蛋白(HDL)として血中に存在するコレステロール。LDLコレステロールが悪玉コレステロールと呼ばれるのに対して、善玉コレステロールと呼ばれ、主に体内の組織からコレステロールを受け取り、肝臓に運ぶ時の形態のことをいう。
LDLコレステロール	低比重リポ蛋白(LDL)として血中に存在するコレステロール。HDLコレステロールが善玉コレステロールと呼ばれるのに対し、悪玉コレステロールと呼ばれる。LDLは、肝臓でつくられたコレステロールを体内の末梢まで運ぶ機能があり、過剰になると動脈硬化の原因となる。
S型デイサービス	地域ミニデイサービス(通称:S型デイサービス) 静岡市で暮らす高齢者を対象に、生きがいづくりや社会的孤立感の解消、健康的な体作りを目的としている。各地区社会福祉協議会が運営を担い、住民ボランティアの方が在宅の高齢者を対象に行っている。
か 介護給付費	1年間の介護保険給付費の総額のこと。介護給付にかかる費用及び予防給付に要する費用の合計。
介護保険	高齢者の介護サービスや介護支援を保証するための社会保険制度の一種。平成12年に施行された介護保険法に基づいて実施されるもので、市町村が運営し、被保険者はその住民で65歳以上の者(第1号被保険者)と、40歳以上65歳未満で医療保険に加入している者(第2号被保険者)とに分類される。
介護保険事業計画	介護保険法第117条に基づき、介護を必要とする被保険者を対象に、介護サービス基盤の整備を計画的に進めるための基本となる実施計画のことで、介護を必要とする被保険者が安心して暮らせるための介護サービス基盤の整備を目的としている。
介護保険要介護2号(40歳～64歳)認定者	40歳以上65歳未満で、介護が必要と認定された者をいう。 以下の16の特定疾病(それぞれの疾病には一定の診断基準あり)により認定されたもの。 ○がん(末期) ○関節リウマチ ○筋萎縮性側索硬化症 ○後縦靭帯骨化症 ○骨折を伴う骨粗しょう症 ○初老期における認知症 ○進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病 ○脊髄小脳変性症 ○脊柱管狭窄症 ○早老症 ○多系統萎縮症 ○糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、 ○脳血管疾患 ○閉塞性動脈硬化症 ○慢性閉塞性肺疾患 ○両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 また、65歳以上で、介護が必要と認定された者のことを介護保険要介護1号認定者という。
ガイドライン	医療者と患者が特定の臨床状況での適切な診療の意思決定を行うことを助ける目的で系統的に作成された文書。ここでは、高血圧ガイドライン2009、動脈硬化性疾患予防ガイドライン2012年版、メタボリックシンドロームの診断基準、糖尿病治療ガイド2016-2017をさす。
拡張期血圧	心臓が拡張して全身から血液が心臓に戻ってくる時に、血管にかかる圧のこと。いわゆる下の血圧のこと。
家計調査	一定の統計上の抽出方法に基づいて選定された全国約9千世帯の方を対象として、家計の収入・支出、貯蓄、負債などを毎月調査している。景気動向の把握、生活保護基準の検討、消費者物価指数の品目及びウエイト作成の基礎資料として利用されるほか、地方公共団体、民間の会社、研究機関、労働組合等で幅広く利用される。
き 基礎疾患	ある疾患の原因となる疾患のこと。例えば、高血圧症、脂質異常症、糖尿病は、虚血性心疾患の基礎疾患とされている。
虚血性心疾患(心疾患)	心臓を動かしている筋肉である心筋の血液の流れが低下、または遮断され障害が生じた状態をいう。主な疾患は、狭心症と心筋梗塞で、冠動脈(心筋に酸素・栄養を送る血管)が動脈硬化で狭くなったり、詰まったりすることが、原因といわれている。
協会けんぽ	全国健康保険協会が運営する健康保険で、健康保険組合を持たない中小企業等で働く従業員や家族を対象にしている。以前は旧社会保険庁(国)で運営されていたが、平成20年から非公務員型法人として運営されている。法律により常時5人以上の従業員を雇用する事業所等は、事業主や従業員の意思に関係なく、加入が義務付けられている。
筋骨格系疾患	レセプト表記区分M00～M99 筋骨格系及び結合組織の疾患。 炎症性多発性関節障害、関節症、脊椎障害(脊椎症を含む)、椎間板障害、肩の障害、骨の密度及び構造の障害、その他の筋骨格系及び結合組織の障害。
く 空腹時血糖	空腹時の血液中のブドウ糖濃度のこと。空腹時血糖が126mg/dl以上になると、糖尿病領域と判断される。
くも膜下出血	脳卒中のなかで、脳の太い動脈に出来た瘤(動脈瘤)が破れて、脳の表面に出血がおこるもの。脳動脈瘤や脳動脈静脈奇形の存在の他に、高血圧、喫煙習慣、過度の飲酒が危険因子となる。
クレアチニン	主に腎機能の指標に用いられる数値。クレアチニンは、筋肉中に含まれるクレアチン(筋肉を動かす時に必要なエネルギー物質)が分解された時にできる物質のこと。高いと腎機能低下や筋肉疲労の可能性がある。
け 健康格差	地域や社会経済状況の違いによる集団・個人における健康状態の差。

健康寿命	健康上問題がない状態で日常生活を送れる期間。
健康日本21	壮年期の死亡の減少や健康寿命の延伸を実現し、全ての人の生活の質の向上を図ることを目的としている。特に生活習慣病の一次予防に重点を置き、個人が主体的に健康づくりに取り組むことを重視し、科学的根拠に基づき対象者を明確にした上で、地域の実情に即した目標を設定して取り組むために策定された計画。
健康・医療戦略	超高齢社会を迎えるに当たり、健康長寿社会の形成に向けて世界最先端の医療技術・サービスを実現すること、健康寿命を延伸することなどを目的に、平成25年6月に日本再興戦略とともに策定された方針のこと。
血管疾患	血管そのもの、または血管腔に異常をきたした疾患の総称。脳の血管で疾患が起これば脳血管疾患といい、心臓の血管で疾患が起これば心血管疾患という。
健保組合	健康保険組合のこと。健保組合が保険者となって運営する健康保険を「組合管掌健康保険」といい、従業員700人以上の大企業体を母体としてつくられた健康保険組合を単一健保組合、同業・同種の事業所によって組織された健康保険組合を総合健保組合、同じ都道府県内で企業・業種を超えた事業所によって組織された健康保険組合を地域型健保組合という。
健康増進法	「健康日本21」を中核とする国民の健康づくり・疾病予防を更に積極的に推進するため、医療制度改革の一環として平成15年5月1日から施行された法律。
頸部エコー検査	頸動脈(クビの動脈)に対して行う超音波検査で、主に動脈硬化の状態を見るために行われる検査。
KDB(国保データベースシステム)	国保中央会が開発したデータ分析システムのこと。医療費だけではなく、健診情報や介護認定情報も併せて分析できるシステム。
こ 広域連合	後期高齢者医療広域連合のこと。後期高齢者医療制度の制定とともに、都道府県単位で各市町村が加入する特別地方公共団体である「広域連合」が創設された。
高血圧分類	日本高血圧学会による高血圧治療ガイドラインによる成人の血圧分類。 Ⅰ度高血圧: 収縮期血圧が140~159mmHg、拡張期血圧が90~99mmHgであること。 Ⅱ度高血圧: 中等度高血圧のこと。収縮期血圧が160~179mmHgまたは拡張期血圧が100~109mmHgであること。 Ⅲ度高血圧: 重度高血圧のこと。収縮期血圧が180mmHg以上または拡張期血圧が110mmHg以上の血圧であること。
行動変容	人々の行動の変化。ここでは、生活習慣病予防に関するライフスタイルの好転変化ことを指している。
高齢者の医療の確保に関する法律	1982(昭和57)年に制定された「老人保健法」から変更された法律。従来の老人保健制度を全面的に改正し、高齢者の医療費の適正化を推進することを目的に定められた。このことにより、75歳以上の高齢者は2008(平成20)年から後期高齢者医療制度に加入することになった。また、保健事業として、40歳から74歳の者を対象に特定健康診査及び特定保健指導などの基本指針を定め、高齢期における健康の保持のための事業を積極的に推進することが保険者に義務付けられた。
後発医薬品	ジェネリック医薬品のこと。新薬(先発医薬品)の独占的販売期間が終了した後に販売され、新薬と有効成分、効能、効果、用法、用量が同一である医療用医薬品。
国民健康保険運営協議会	市の国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するために設置されている機関。国民健康保険法11条に定められており、市町村に設置することとされている。
国民健康保険法	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び国民健康保険の向上に寄与することを目的とする法律。
国保連合会	国民健康保険団体連合会のこと。「国民健康保険法」第83条に基づき設立された公的な法人で、都道府県ごとに47団体が組織されている。
国保総合システム	国保連合会において運用されているシステムで、レセプトにかかわる診査・支払・管理の一貫した処理を行うシステムの総称。
子育てサロン	市内のこども園や私立保育園等が月に1回程度開催している。仲間作りや情報交換の場であり、育児相談なども実施している。
さ 最大医療資源傷病名	国保データベースシステム(KDB)における、主傷病名のこと。最大医療資源傷病名により傷病分析を行うことにより、地域において医療費負担の割合の大きい疾病を明らかにし、原因を究明するとともに保健事業のターゲットを絞ることが可能になる。また、全国で同一の方法で主傷病名を決定することにより、疾病別医療費について他県、同規模保険者や全国との比較を容易にすることができる。
し 心房細動	不整脈の一つで、心房内で起こる早く不規則な刺激により、心房全体が細かく震え、まとまった収縮と弛緩ができなくなる状態のこと。心臓内に血栓ができやすくなり、脳梗塞の危険因子となる。
GPT	肝機能検査の項目の一つ。アミノ酸の合成に必要な酵素で、肝臓に多く含まれている。肝臓の細胞に障害があると、血液に出て数値高くなる。
社会保障費	医療・介護の自己負担分以外の給付額や年金の受給額など、社会保障制度によって国や地方公共団体から国民に給付される金銭・サービスの年間合計額。
診療報酬	医療保険から医療機関に支払われる治療費。医療の内容も規定している。
収縮期血圧	心臓が収縮して全身に血液を送り出すときに、血管にかかる圧のこと。いわゆる上の血圧のこと。
人工透析(透析)	腎不全や尿毒症などで腎臓の機能が阻害され、体内の老廃物を除去できなくなった場合などに、人工的に血液を浄化する方
脂質異常(脂質異常症)	血液中のコレステロールや中性脂肪などの脂質が、一定の基準よりも多い状態。動脈硬化を起こしやすくなり、心筋梗塞や脳卒中のリスクが高くなる。
静岡市糖腎防の会	静岡市糖腎防の会は2015年9月28日に糖尿病性腎症の重症化防止を考えるために設立。メンバーは静岡医師会、清水医師会、糖尿病・腎臓専門施設の有志、静岡市職員で構成されている。腎症の重症化防止のための地域を挙げての対策を練り、実現を目指している。
食生活改善推進員	食生活改善をテーマに健康づくり地区組織の実践活動に参加するボランティア組織
受診率	ある特定の日に疾病治療のために、すべての医療施設に入院あるいは通院、または受診を受けた人の割合
受療率	ある特定の日に疾病治療のために、すべての医療施設に入院あるいは通院、または受診を受けた人の数と人口10万人との比率
心原性脳塞栓症	心臓にできた血栓が血流に乗って脳動脈に流れ込み比較的大きな動脈をつまらせることで発症するタイプの脳梗塞。もっとも脳にダメージが大きい脳梗塞。

せ	生活習慣病	糖尿病、循環器病(脳血管疾患・心疾患など)、がん及び歯周病などが代表的なもので、食生活、運動、休養、喫煙及び飲酒など日常生活習慣の在り方が心身の健康状態を悪化することに大きく影響し、発生する疾病のこと。
	生活保護率	人口百人当たりの被保護実人員。福祉行政報告例引用。都道府県・指定都市・中核市別保護率(平成24年1月時点)より引用。
そ	早世	早く世を去ること。早死にしまうこと。
た	第1・2・3次産業	第1次産業:原材料・食料など最も基礎的な生産物の生産に係る産業。農林水産業など。 第2次産業:製造業・建築業・鉱工業などをいう。 第3次産業:商業・運輸・通信・金融・公務・サービス業・電気・ガス・水道業などをいう。
	第3次静岡市総合計画	平成27年度から34年度の8年間の総合計画。本市の特性を生かしたまちづくりとして、「歴史文化の拠点づくり」「海洋文化の拠点づくり」「教育文化の拠点づくり」「健康長寿のまち」の推進、「まちは劇場」の推進を5大構想として、世界水準の都市「静岡市」を目指す。
	大血管疾患	心臓から直接分岐する大血管(大動脈)になんらかの病態が生じたことによる疾患のこと。大動脈瘤や大動脈解離などの疾患のことをいう。
ち	中性脂肪	肝臓で作られたり、食物から吸収されたりする脂質の一種で、体を動かしたり、体温を保持したりするエネルギー源となる。中性脂肪の値が高くなり、皮下脂肪や肝臓などに過剰に蓄積されると、脂質異常症やメタボリックシンドローム、脂肪肝、肥満、動脈硬化などへとつながっていく。
て	データヘルス計画	特定健診の結果やレセプト等のデータ、介護保険の認定状況等を活用し、PDCAサイクルの考えに基づき効果的かつ効率的な保健事業を行うための実施計画。
と	特定健康診査	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病を予防するという観点で、平成20年4月から医療保険者に義務付けられた40歳から74歳までを対象とする健診。
	特定保健指導	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発生リスクが高い方に対して、医師や保健師、管理栄養士等が対象者一人ひとりの身体状況に合わせた生活習慣を見直すためのサポートを行うもの。 特定保健指導には、リスクの程度に応じて、動機付け支援と積極的支援がある。(よりリスクの高い方が積極的支援)
	糖尿病性腎症	糖尿病の合併性の一つで、腎臓の機能(主に糸球体)に障害が起きること。
	糖尿病予備群	糖尿病境界型ともいう。HbA1c6.5%未満で空腹時血糖が110~125の人mg/dlなどの人。糖尿病になる可能性が高いことを示す。
	同規模(同規模平均、同規模市等)	ここで同規模とは「政令市」「政令市の平均値」のことを示す。
な	内科系8学会	日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、日本循環器学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会が合同でメタボリックシンドローム診断基準検討委員会を結成し、メタボリックシンドロームの診断基準を設定している。
	内臓脂肪症候群	メタボリックシンドロームの欄参照。
	内臓脂肪症候群該当者・予備群該当者	該当者(メタボ該当者):腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち、2つ以上の項目に該当するもの。 予備群該当者(メタボ予備群):腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち、1つに該当するもの。
	ナッジ理論	行動経済学で「人々に選択する余地を残しながらも、よりよい方向に行動を誘導しようとする手法」を指す。
	75g糖負荷検査	糖尿病のリスクをみるための検査。空腹時血糖を測定後、ブドウ糖液を飲み、直後、30分後、1時間、2時間と血糖値を計測。自覚症状や明らかな高血糖が考えられる場合、検査をすることで高血糖を引き起こすリスクがあるため、対象者が限定されている。
に	日本再興戦略	平成25年6月14日に閣議決定され、経済成長に向けて民間活力を引き出すことを主目的に産業基盤の強化策を打ち出した成長戦略で、安倍政権の経済政策であるアベノミクスの3本の矢(第1の矢:「大胆な金融政策」、第2の矢:「機動的な財政政策」)のうち、第3の矢といわれている。その中で健康長寿社会の実現を目指している。
	尿酸	物質代謝の最終生産物(プリン体等)の血中濃度のこと。通常は、老廃物として尿と一緒に排泄される。
	尿蛋白(蛋白定性)	尿検査で測定。腎臓をはじめとする臓器に異常があると陽性(+)反応を示す。尿に多量の蛋白が流れ出している状態。
の	脳血管疾患	脳内の動脈が破れたり、詰まったりすることで血液が流れなくなり、脳に障害が及ぶもので、一般に脳卒中といわれるものなど、脳血管に関する病気の総称。 脳の血管が破れて出血する脳出血、クモ膜下に出血するクモ膜下出血、脳の血管が詰まる脳梗塞に大別されて、さらにアテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、心原性脳塞栓症に大別される。 ・アテローム血栓性脳梗塞:血管の壁にLDLコレステロールが沈着し、血管の内腔が狭くなり、最終的に血管が詰まるもの。 ・ラクナ梗塞:穿通枝(せんつうし)という脳内の微小血管が詰まるもの。 ・心原性脳塞栓症:心房細動などの心臓の異常により、心臓内にできた血栓(血液の塊)が脳に移動し、脳の血管が詰まるもの。
ひ	一人当たり県民所得	企業所得、財産所得、雇用者報酬の合計である県民所得を各都道府県の人口で割ったもの。
	1人当たり医療費	総点数の合計を保険者数で割った値。
	被用者保険	被用者保険は職域保険と呼ばれ、企業で働く被用者が加入する保険。職業によっていくつかの種類があり、企業の被用者が加入する健保組合、協会けんぽ、公務員が加入する共済組合などに分かれる。
	BMI	「体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)」で算出される体格指数のことで、肥満度を測るための標準的な指標。Body Mass Indexの略。
	標準的な健診・保健指導プログラム(平成30年度版)	糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群の減少、中長期的な医療費の伸びの適正化を図るため、医療保険者が効果的・効率的な保健指導を実施するよう作成され、健診・保健指導の方向性を示すもの。厚生労働省健康局が平成19年4月(確定版)から作成し、平成25年4月【改訂版】を経て、平成30年4月に【30年度版】として公開された。

標準化死亡比 (SMR)	<p>死亡者数を人口で除した死亡率と比較すると、高齢者の多い地域では死亡率が高くなる傾向があるため、人口構成の違いを除いて死亡率を比較するための指標。国平均を100とし、100以上は国平均より死亡率が高く、100以下は低いとされる。Standardized mortality ratioの略。</p> $SMR = (D / \sum pidi) \times 100$ <p>D: 当核地町村死亡数(過去5年間の和) pi: 当核市町村5歳階級別人口 di: 基準死亡率=全国5歳階級死亡数/全国5歳階級別人口</p>			
病院、診療所	病院とは、入院できるベッド数が20床以上の医療機関のこと。診療所は入院できる設備が全くないか、19床以下の施設のこと。			
PDCAサイクル	計画→実行→評価→改善の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。			
プリン体	核酸を形成する主成分で、全ての細胞に含まれる。肉・魚に多く、肝臓で代謝され尿酸となる。体の細胞の核(たんぱく質)からも作られる。尿酸となって体外に排泄されるが、尿酸が多くなりすぎると、血液中にたまって、高尿酸血症となる。その状態が続くと、尿酸塩が関節に沈着し急性関節炎(痛風)を起こす。腎臓や尿路系に沈着し、腎臓障害や尿路結石を起こすこともある。			
HbA1c(NGSP)	読み方:ヘモグロビン・エーワンシー 赤血球の中にある酸素を運ぶヘモグロビンに血液中の糖が結合したもので、過去1~2か月間の平均血糖値を表す。NGSP値は国際標準値のことで、日本で従来使用されていたJDS値よりも0.3~0.5%加算された値で示される。			
ほ 保険給付費	被保険者や被扶養者が病気やけが、出産、死亡した場合、保険者は医師の診療を提供するほか、定められた各種の給付金を現金で支給する。また、診療を提供する方法を現物給付、給付金を支給する方法を現金給付というが、それらを総称して保険給付といい、それにかかる費用を保険給付費という。			
保険者努力支援制度	国保制度改革として、医療費適正化に向けた取組等に対する支援。平成30年度開始であるが、【前倒し分】として平成28年度及び平成29年度から特別調整交付金の一部を活用して実施する。			
母子保健法	1965(昭和40)年に制定された法律。「母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健に関する原理を明らかにするとともに、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じ、もって国民保険の向上に寄与する」ことを目的としている。			
保健委員会	清水区にある組織で、地域の健康づくりのリーダーとして啓発活動等を行っている。旧清水市の頃から活動している。			
ポピュレーションアプローチ	ハイリスクアプローチと対をなす予防アプローチ。軽度のリスク層を対象に、一人ひとりには効果が小さくても対象全体で大きな効果量が得られることを期待する。集団全体に働きかけ集団全体の健康障害のリスクを少しずつ軽減させ、良い方向にシフトさせるもの。			
ま	慢性腎不全(CKD)	<p>①蛋白尿など腎障害の存在を示す所見 ②腎機能低下(eGFR(用語集No.58)が60ml/分/1.73m²未満) ①、②のいずれか、または両方が3か月以上持続する状態。 CKDのステージ分類については次のとおりである。</p>		
		病期ステージ	重症度の分類	進行度による分類eGFR(ml/分/1.73m ²)
		1	正常または高値	≥90
		2	正常または軽度低下	60~89
		3a	軽度~中等度低下	45~59
		3b	中等度~高度低下	30~44
		4	高度低下	15~29
	5	末期腎不全	<15	
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	慢性気管支炎、肺気腫と呼ばれた疾患の総称。喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病。低酸素症が進行すると在宅酸素療法や、人工呼吸器、補助喚起療法が必要になる。			
め	メタボリックシンドローム(メタボ)	心筋梗塞や脳梗塞発症の危険性を高める内臓脂肪症候群のこと。内臓脂肪が蓄積し、脂質異常・高血圧・高血糖の2つ以上が当てはまると、メタボリックシンドロームと診断される。		
ゆ	有病(有病率・有病者等)	ある一定の時期において、疾病を有している人の割合や人数等。		
	有所見(有所見率・有所見者等)	健康診査を受診した者のうち、異常値のあった者の割合や人数等。		
ら	ライフステージ	人の一生を妊娠期、乳幼児期、学童・思春期、成人期、高齢期などに分けた、それぞれの段階。		
	ラクナ梗塞	穿通枝(せんつうし)という脳内の微小血管が詰まる小梗塞。基本的に命の危険は少ないが、知らないうちに進むと、脳血管型認知症の原因となる。		
り	罹患	病気にかかること。		
れ	レセプト(診療報酬明細書)	医療機関が患者が受けた診療について、健康保険組合に提出する月ごとの診療報酬明細書。		

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）

第3期特定健康診査等実施計画

【中間評価見直し】

～生活習慣病予防を推進するために～

令和3年3月発行

発行：静岡市保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1376

FAX 054-251-0035

E-mail kenkousuishin@city.shizuoka.lg.jp